**シリーズ「ニューシティカテキズム～キリスト教Q&A」 ⑰**

**「Gospel Walz Session1」**　4月 第4週/ ボブ・フレイハート

**📚聖書の学び：**民数記 21章 4〜9節

4 彼らはホル山から、エドムの地を迂回しようとして、葦の海の道に旅立った。しかし民は、途中で我慢ができなくなり、5 神とモーセに逆らって言った。「なぜ、あなたがたはわれわれをエジプトから連れ上って、この荒野で死なせようとするのか。パンもなく、水もない。われわれはこのみじめな食べ物に飽き飽きしている。」6 そこで主は民の中に燃える蛇を送られた。蛇は民にかみついたので、イスラエルのうちの多くの者が死んだ。7 民はモーセのところに来て言った。「私たちは主とあなたを非難したりして、罪を犯しました。どうか、蛇を私たちから取り去ってくださるよう主に祈ってください。」モーセは民のために祈った。8 すると主はモーセに言われた。「あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上に付けよ。かまれた者はみな、それを仰ぎ見れば生きる。」9 モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを旗ざおの上に付けた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると生きた。

　問17：偶像礼拝とは何ですか?

**答：偶像礼拝とは、創造主ではなく造られたものに、私たちの希望と幸福、人生の意義と安定のために信頼を寄せることです。**

**🤔質問：考えましょう**

1 ニューシティカテキズムの問いと聖書箇所を振り返ってみましょう。この箇所でイスラエルの民は神様への不信仰を表しました。荒野での生活を支えてくれたのは神様でしたが、なぜ民は不満を漏らしたのでしょうか？

また、彼らが人生の意義と安定のために信頼していたものはなんだったのでしょうか？

2 神様はイスラエルの民の不信仰の故に民の中に「燃える蛇」を送られました。これはある意味で、彼らの罪によって死に至ったとも言い換えられます。彼らの不信仰と今を生きる私たちが抱く不信仰を比べてみて、共通することはありますか？シェアしてみましょう。

3 しかし罰を与えただけでこの話は終わりませんでした。21:7～9をよんでみましょう。

神様はモーセに青銅の蛇を作るように命じ、それを仰ぎ見る人々は死から逃れられました。この青銅の蛇のエピソードとイエスの十字架での贖いに共通する点は何でしょうか？

（ヨハネの福音書3:14～15も一緒に読んでみましょう）

**祈りましょう：**

第四日曜

リトリートまで一週間をきりました！

➡️二年ぶりのリトリートです。一人一人が恵まれるように！

Hopeあわれみの働き

迫害されているクリスチャン➡️プレイヤーウォークを今日行いました！

グレースシティが希望している日本橋の礼拝場所の近くでも祈りました（今後、会場を運営している人たちが私たちの信仰に理解を示してくれるように）

世界のため、平和のため➡️先週はワールドビジョンの方が礼拝でプレゼンテーションをしてくれました。彼らの働きがルワンダの子供たちのために大きく用いられるように

牧会チームのために

新しく生まれる命とお母さんたちのために（四人が生まれる予定です）

**イベント、その他**

Worship & Fellowship 4月28日 KDDI HALL 14:00～

GWリトリート in 軽井沢 5月3～6日（5～6日はリーダートレーニング）

Worship & Fellowship 5月5日 軽井沢ユニオンチャーチ 10:00～